

循環器内科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	冠動脈血流波形を用いた大動脈弁逆流症の重症度評価に関する検討
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	(所属) 内科学講座(循環器内科) (職名) 教授 (氏名) 天野哲也
研究の対象となる方	2026年1月から2030年8月までに大動脈弁逆流症の精査のために経胸壁心エコー図検査および心臓MRIが施行された20歳以上の患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2030年12月31日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕</p> <p>大動脈弁逆流症 (AR) は、心臓の弁が閉じずに血液が逆流する病気で、重症になると手術が必要です。現在は主に「心エコー図検査」で診断していますが、判定が難しく、検査する人によって結果にバラつきが出やすいという課題があります。精密な「心臓MRI検査」もありますが、コストや時間の面で頻繁に行うのは困難です。そこで私たちは、「心臓の血管(冠動脈)の血流」に着目しました。逆流がひどくなると、この血管の血流スピードが変化するため、これが新しい「正確な診断の物差し」になると考え、本研究を行うことにしました。</p> <p>本研究の目的は、心エコー図検査で「心臓の血管(冠動脈)を流れる血液が減速する時間」を測定し、それが逆流症の重症度を正しく判定する指標として役立つかを確かめることです。</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>心エコー図検査と心臓MRIの計測値と電子カルテから患者さんのデータ(身長・体重、病歴、血液検査など)を個人が特定されない形で収集し、データからARの重症度を診断したのち、冠動脈の血液が減衰する時間がARの重症度を診断できるかを検討します。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕</p> <p>非該当</p> <p>〔外部への提供開始日〕</p> <p>非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	<p>試料：非該当</p> <p>情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、既往歴、血液検査結果、心エコー図所見、心臓MRI所見等を収集。</p>

提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2030年11月30日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 循環器内科 担当者：(職名) 助教 (氏名) 鈴木航 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 23490)